

くわな市議会だより

平成24年3月定例会号

創刊号

発行日 平成24年6月1日



「くわな市議会だより」の創刊にあたって

桑名市議会議長 安藤 寛雅

市民の皆様には、平素から市議会に対しまして、ご理解とご協力を賜っておりますことに議員一同、心から感謝申し上げます。桑名市議会では、これまで「広報くわな」の誌面の中で、議会情報をお届けしてまいりましたが、より詳細に議会の動きをお伝えすることを目的とし、このたび「くわな市議会だより」を創刊することといたしました。

この市議会だよりは、議員みずからが作成、編集しており、年4回の定例会ごとに発行する予定です。

市民の皆様にとって、わかりやすい構成で、内容を充実させてまいりますので、これまで以上に市議会の活動を身近に感じていただければと思います。

今後とも開かれた市議会を目指してまいりますので、ご支援をお願いし、創刊のご挨拶とさせていただきます。

目次

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 01 表紙 | 07 建設水道委員会 審査の概要 |
| 02 桑名市議会 議会改革の取り組み | 08 新病院の整備等に関する特別委員会 審査の概要／代表質疑 |
| 03 議会報告会を開催しました／3月定例会主な表決結果 | 09 代表質疑 |
| 04 総務政策委員会 審査の概要 | 10 議案質疑／一般質問 |
| 05 福祉安全委員会 審査の概要 | 11 一般質問 |
| 06 教育経済委員会 審査の概要 | 12 桑名市議会からのお知らせ |



クローズアップ!!

桑名市議会 議会改革の取り組み

桑名市議会は、これまでも議会改革に取り組んできました。また、現在も議会改革を行うため議会改革検討会を設置しています。今後さらに市民の皆様に関われた桑名市議会にするために、市議会だよりを年4回発行します。今回は創刊号ということで、これまで桑名市議会が議会改革に対してどのように取り組んできたか、その活動の一端をご紹介します。

▶ 議会のあるべき姿

桑名市議会基本条例を制定 [平成23年10月]

地方分権の推進により、地方議会の役割もますます重要になってきました。そこで、議会の基本理念および基本方針を定め、議会の果たすべき役割と責任を定めた「桑名市議会基本条例」を制定しました。

桑名市議会議員政治倫理条例を制定 [平成23年6月]

議員の政治倫理を確立し、市民に信頼される民主的な桑名市議会にするために、「桑名市議会議員政治倫理条例」を制定しました。これまでは議会の内部規定として存在していましたが、条例化することで市民の皆様との約束事になりました。

▶ 市民の皆様に関われた議会をめざして

本会議のインターネット録画中継を開始 [平成20年6月]

現行のケーブルテレビによる議会生中継に加え、本会議の録画映像をインターネット上に掲載しました。インターネット上で、議事録として文字で閲覧するだけでなく、議場の雰囲気もご覧いただくことができるようになりました。

広報広聴委員会を設置 [平成23年12月]

議会での議論の内容を市民の皆様にお伝えし、皆様の声を議会に反映する機能を強化するため、広報広聴委員会を設置しました。市議会だよりの編集発行業務のほか、議会ホームページのあり方などを議論していきます。

▶ 自らの身を削って年間3,540万円の財源確保

議員定数を4名削減 [平成19年4月]

議員定数を34名から30名とする「桑名市議会議員定数条例」を議決しました。このことによって、議員報酬については年間約2,900万円の、また政務調査費については年間240万円の節約につながりました。

費用弁償を廃止 [平成19年10月]

これまで桑名市議会では、会議に出席するごとに日額3,000円の費用弁償が出ていました。この費用弁償を廃止する「桑名市議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について」を議決しました。このことによって、費用弁償については年額約400万円の節約につながりました。

そのほかにも、議員別表決結果の公表、本会議における一問一答方式の導入、政務調査費の透明性の確保など、桑名市議会では、さまざまな改革に取り組んできました。詳しくは広報広聴委員会、または議会事務局までお問い合わせください。

議会報告会を開催しました!!

4月20日(金)午後7時から、市民会館など市内4ヶ所で議会報告会を開催しました。この報告会は、昨年12月に施行された議会基本条例に基づき実施したものです。合計166人の市民の皆様にご来場いただき、議会の活動状況や3月定例会における予算等の審議状況を報告しました。

市民の皆様からは、議案に対する質問や市の財政状況、防災に関する考え方、職員の不祥事問題など、多くのご質問、ご意見、ご要望をいただきました。

皆様からいただいた貴重なご意見、ご要望は、今後の議会活動の参考にさせていただきます。ご出席いただきました皆様、本当にありがとうございました。議会報告会の概要や参加者の主な意見はホームページに掲載します。

今回は、9月定例会の報告を10月頃に行う予定です。



平成24年3月 定例会 主な表決結果

[市長提出議案51件・請願1件・議員提出議案2件・報告4件]

区分	議案番号	件名	賛成	反対
市長提出議案	第5号	平成24年度桑名市一般会計予算	22	6
		議案第5号 平成24年度桑名市一般会計予算に対する修正案	6	22
	第6号	平成24年度桑名市国民健康保険事業特別会計予算	25	2
	第7号	平成24年度桑名市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	25	2
	第8号	平成24年度桑名市市営駐車場事業特別会計予算	25	2
	第10号	平成24年度桑名市介護保険事業特別会計予算	25	2
	第11号	平成24年度桑名市後期高齢者医療事業特別会計予算	25	2
	第12号	平成24年度桑名市地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計予算	25	3
	第13号	平成24年度桑名市水道事業会計予算	25	2
	第14号	平成24年度桑名市下水道事業会計予算	25	2
	第15号	地方独立行政法人桑名市民病院の名称変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	25	3
	第16号	桑名市職員倫理審査会条例の制定について	22	6
	第18号	桑名市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	22	6
	第19号	桑名市長及び副市長等の給与の特例に関する条例の一部改正について	16	12
	第20号	桑名市入札監視委員会条例の制定について	24	4
	第37号	工事請負契約の締結について(桑名市役所本庁舎耐震補強事業)	25	3
第46号	平成23年度桑名市地方独立行政法人桑名市民病院施設整備等貸付事業 特別会計補正予算(第2号)	25	2	
第52号	地方独立行政法人桑名市民病院中期計画の一部を変更することについて	25	3	
第54号	副市長の選任につき同意を求めるについて	20	7	
請願	第1号	桑名市長水谷元氏に辞職勧告を求める請願	7	21
議員提出議案	第1号	議決事件に該当しない契約についての報告に関する条例の制定について	原案可決全会一致	
	第2号	地方独立行政法人桑名市総合医療センターに係る非課税措置を講ずることに関する意見書	24	3

※全ての議員別表決結果は桑名市議会ホームページ参照

■主な審査案件 委員会開催日 3月13日・15日(審査件数18件)

- 議案第 5号 平成24年度桑名市一般会計予算 第1条 歳入歳出予算中 所管部門、第2条 ないし 第5条
- 議案第16号 桑名市職員倫理審査会条例の制定について
- 議案第18号 桑名市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 議案第19号 桑名市長及び副市長等の給与の特例に関する条例の一部改正について
- 議案第20号 桑名市入札監視委員会条例の制定について
- 議案第21号 桑名市行政財産目的外使用料条例の制定について
- 議案第22号 桑名市市税条例の一部改正について
- 議案第31号 三重県自治会館組合の共同処理する事務の変更及び三重県自治会館組合規約の変更に関する協議について
- 議案第35号 三重県市町職員退職手当組合の解散に関する協議について
- 議案第36号 三重県市町職員退職手当組合の解散に伴う財産処分に関する協議について
- 議案第37号 工事請負契約の締結について(桑名市役所本庁舎耐震補強事業)
- 議案第40号 平成23年度桑名市一般会計補正予算(第6号) 第1条 歳入歳出予算中 所管部門、第2条 ないし 第5条 ほか6議案

審査の主な概要

平成24年度桑名市一般会計予算の所管部門に対する質疑

◆弁護士法務支援事業費について
Q 内部通報制度の内容として、セクシャルハラスメントやパワーハラスメントについても通報することは可能であるか。通報することは可能であり、それが法に触れることであれば、法に則って措置をすることになり、法に触れないことであれば、担当課へ伝え、改善を促すことになる。

◆非常備消防費について
Q 消防団詰所の建て替え計画はどのようなになっているか。
A 消防団詰所の建て替えの基準は50年であり、古い順に9分団、12分団となるが、高速道路建設にかかる三重県の砂出川砂防事業にともない、12分団を先に建て替えることになる。

◆桑名市職員倫理審査会条例の制定に対する質疑
Q 職員倫理条例を制定する前に、今回、職員倫理審査会条例を制定することになった経緯は。
A 不祥事対策検討委員会において、職員倫理条例を制定すべきであるとの意見があり、外部の有識者を交えた審査会を設置した上でこの条例案を作成することも一つの方法であることから、今回の条例制定に至っている。

◆桑名市長及び副市長等の給与の特例に関する条例の一部改正に対する質疑
Q この条例の一部改正は、経済情勢等を鑑み、現在行っている市長及び副市長等における給与月額額の3%の減額を12月まで延長するものだが、それによつて生じた財源は、どのようなことに使用されるのか。
A 予算編成の中であらゆる経費の見直しを図っており、それらとともに、市長及び副市長等の給与減額分についても経常的な経費に使用していく予定である。

◆桑名市行政財産目的外使用料条例の制定に対する質疑
Q 行政財産の目的外使用と貸し付けの違いは。
A 目的外使用については、以前から一時的な使用を前提とした制度であり、貸し付けについては、平成18年の法改正により長期的で安定的な利用を可能にした制度である。

◆工事請負契約の締結について(桑名市役所本庁舎耐震補強事業)に対する質疑
Q 工事にあたり、「市内業者の地域貢献」についてはどのようなことになっているか。
A 技術提案書の要件として、「地域貢献」を盛り込んでおり、契約相手方からは、耐震に関する特殊工事以外の部分で30%前後を市内業者中心に発注するという提案がされている。



■総務政策委員会

- 委員長 飯田 尚人
- 副委員長 倉田 明子
- 委員 伊藤 徳宇
- 伊藤 惠一
- 星野 公平
- 安藤 寛雅
- 飯田 一美

■審査案件 委員会開催日 3月13日・15日〔審査件数 14件〕

- 議案第 5号 平成24年度桑名市一般会計予算 第1条 歳入歳出予算中 所管部門
- 議案第 6号 平成24年度桑名市国民健康保険事業特別会計予算
- 議案第 7号 平成24年度桑名市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
- 議案第10号 平成24年度桑名市介護保険事業特別会計予算
- 議案第11号 平成24年度桑名市後期高齢者医療事業特別会計予算
- 議案第23号 桑名市国民健康保険税条例の一部改正について
- 議案第24号 桑名市福祉医療費の助成に関する条例の一部改正について
- 議案第25号 桑名市母子生活支援施設条例の一部改正について
- 議案第27号 桑名市介護保険条例の一部改正について
- 議案第40号 平成23年度桑名市一般会計補正予算(第6号) 第1条 歳入歳出予算中 所管部門
- 議案第41号 平成23年度桑名市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 議案第42号 平成23年度桑名市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第44号 平成23年度桑名市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- 議案第45号 平成23年度桑名市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)



審査の主な概要

平成24年度桑名市一般会計予算の所管部門に対する質疑

◆災害対策費について

Q 備蓄用物資購入費では、具体的に何を購入するのか。

A アレルギーマスクに対応したアルファ化米、より食べやすい保存食、古くなった消毒液の買い替えなどを予定している。



Q

伊曾島地区の防災拠点施設整備基本計画策定については、具体的にはどのように考えているのか。

A 伊曾島地区に限らず長島地区全体という考えを持っており、住民の方の意見や輸送路の混雑、2月25日に実施した広域避難訓練での意見などを基に計画を作成していく考えである。

◆地域福祉計画策定事業費について
Q 住民意識調査を行うとのことだが、どのように行うのか。

A 一般市民の方2,000人と公立中学2年生全員を対象にアンケート調査を行い、その結果を第3期の計画策定に反映させる予定である。

◆健康増進施設費について

Q 事業を延期していたが、何故、この時期に設計変更の予算計上となったのか。

A 多度地区の合併時からの重点事項であり、延期の一番の理由であった市民病院の再編に関しては国からの交付金が26億6,000万円余交付されるということ、東日本大震災の教訓を踏まえ、災害時に対応できる施設として活用したいとの考えから、この時期に設計変更をして事業化することが妥当と判断した。

平成24年度桑名市国民健康保険事業特別会計予算に対する質疑

Q 給付費支払準備基金の積み立てが6億円を超えているが、それを保険税の軽減に活かさないか。

A 積立金は国民健康保険事業の円滑で安定した運用を図るために積み立てているものである。保険税の軽減については、7割軽減、5割軽減、2割軽減と所得水準に応じた軽減措置を自動的に適用される形で実

施している。

桑名市福祉医療費の助成に関する条例の一部改正に対する質疑

Q 中身が拡充されてきたことは評価したいが、窓口での無料化は実施できないのか。

A 三重県下でまとまって制度運用している関係で、桑名市としては強く要望しているが、制度上の問題などにより、全市町が参加した検討会で現在も検討中という状況である。

桑名市介護保険条例の一部改正に対する質疑

Q 保険料が値上げになるが、市民への周知はどうするのか。

A 4月1日号の広報や市のホームページにおいて掲載するほか、納付書の発送時に保険料変更の通知書も同封していく。また、市民の方への説明会の開催も考えている。

福祉安全委員会

- 委員長 伊藤 研司
- 副委員長 愛敬 重之
- 委員 畑 紀子
- 委員 倉本 崇弘
- 委員 鷲野 勝彦
- 委員 平野 和一
- 委員 石田 正子
- 委員 伊藤 文一

■審査案件 委員会開催日 3月14日・16日〔審査件数 7件〕

- 議案第5号 平成24年度桑名市一般会計予算 第1条 歳入歳出予算中 所管部門
- 議案第26号 桑名市斎場条例の一部改正について
- 議案第30号 桑名市社会教育委員設置に関する条例の一部改正について
- 議案第39号 土地改良事業の施行について
- 議案第40号 平成23年度桑名市一般会計補正予算(第6号) 第1条 歳入歳出予算中 所管部門
- 議案第50号 桑名市公民館条例の一部改正について
- 議案第51号 桑名市立図書館条例の一部改正について



審査の主な概要

◆平成24年度桑名市一般会計予算の所管部門に対する質疑

◆農林水産業費について

Q 農商工連携による軽トララック市を行う経緯と地元商店の了解は。

A 地産地消の啓発活動の一環として行うものであり、地元商店からも歓迎されている。

Q 有害鳥獣対策として設置を行っている防止柵に、猿対策として電流を流す予定はないのか。

A 木が繁った場所では、猿は木から木へ飛び移るため効果が薄いと考えている。平坦地については、検討をしていきたい。

◆総務費について

Q 多度地区のコミュニティバスは近年利用者が減少しているが、現状把握はどうか。

A 今年度は、バスを小型化して民家に近いところを走らせる計画をしている。利用状況も踏まえて、今後も力を入れて行きたい。

◆バス

◆教育費について

Q 中学校の武道必修化に関し、外部から柔道経験者を講師として呼ぶことについて、市の考えはどうか。

A 柔道の指導には万全を期さなければならぬということから、柔道経験者を外部派遣講師としてお願いすることは、指導上有効と考えている。市の柔道協会及び医師会とも連携し、できるだけ多くの方にお願いいただき、担当する教員に対しても十分指導ができるよう講習会の実施等を考えている。

Q 幼稚園経営については、全国的に公立から私立へシフトする傾向もあるが、公立を無くすことによる問題は何か。

A 全国的には、公立で行っている場合、私立で行っている場合、共存している場合がある。本市としては、保護者の利便性等について充分考慮し、保護者の選択肢を多くする方向



Q 大山田西小学校の屋外運動場について、芝生化すると管理が大変ではないか。

A 芝生化を行うメリットもあり、芝生化にあたっては、先行事例での経験も踏まえ、運動場を使用する団体へも理解を求め、一緒に芝生を管理していきたい。

Q 平成23年度桑名市一般会計補正予算に対する質疑

◆教育費について

Q 児童生徒の給食費の負担金については、未納者があるのか。

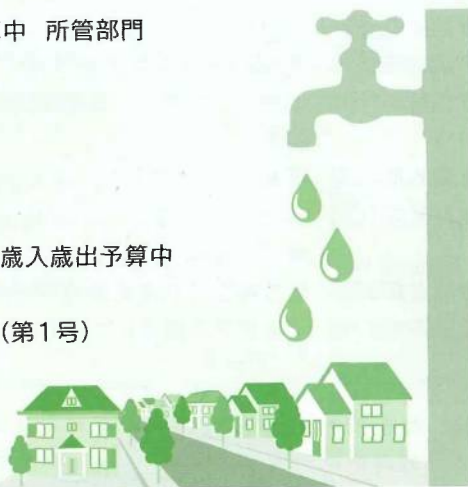
A 一部の保護者に未納があるため、学校から保護者に対して請求しているところである。

◆教育経済委員会

委員長 杉浦 繁生
副委員長 大橋 博二
委員 伊藤 真人
水谷 義雄
南澤 幸美
竹石 正徳
岡村 信子
清水 教代

■ 審査案件 委員会開催日 3月14日・16日・21日 (審査件数 11件)

- 議案第 5号 平成24年度桑名市一般会計予算 第1条 歳入歳出予算中 所管部門
- 議案第 8号 平成24年度桑名市市営駐車場事業特別会計予算
- 議案第 9号 平成24年度桑名市農業集落排水事業特別会計予算
- 議案第13号 平成24年度桑名市水道事業会計予算
- 議案第14号 平成24年度桑名市下水道事業会計予算
- 議案第28号 桑名市営住宅管理条例の一部改正について
- 議案第40号 平成23年度桑名市一般会計補正予算(第6号) 第1条 歳入歳出予算中 所管部門
- 議案第43号 平成23年度桑名市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第47号 平成23年度桑名市水道事業会計補正予算(第2号)
- 議案第48号 平成23年度桑名市下水道事業会計補正予算(第4号)
- 議案第49号 桑名市景観条例の一部改正について



審査の主な概要

平成24年度桑名市一般会計予算の所管部門に対する質疑

◆ 住宅リフォーム促進事業について

Q 市民にとって有益な制度になるため、申請時の提出書類で、工事が適正価格であると判断できる基準はあるのか。

A

窓口となる建築開発課においては、積算資料等の刊行物で比較判断したいと考えている。また、相談窓口の設置や業者等への説明会の開催など、啓発を行うしていきたいと考えている。

◆ 河川改良事業費について

Q 昨年の集中豪雨に対応するための予算は含まれているのか。

A

当該予算は継続事業を中心に計上しており、昨年の水害に関する部分については、現在発注中の調査結果を踏まえ、改善計画を立てていきたいと考えている。

◆ 桑名駅西土地区画整理事業について

Q これまでとれだけの補償を行っている、あとのの、くらい残っているのか。

A

平成22年度末で90件の建物補償を行っており、



今年度については10件の補償を予定している。平成24年度以降の建物補償件数は343件である。

平成24年度桑名市市営駐車場事業特別会計予算に対する質疑

Q

歳入における駐車場整備基金繰入金金の金額が歳出における地方債の元金償還金の金額にほぼ相当しているが、平成24年度末見込みの駐車場整備基金の残高はいくらか。

A

1,756万8,000円を見込んでいる。

Q

平成25年度予算の編成時には、地方債の元金償還金は一般会計からの繰り入れがなければ返済できないということか。

A

収入増に向けて努力しているが、不足分は一般会計から繰り入れることになる。

平成24年度桑名市水道事業会計予算に対する質疑

Q

配水管布設替え等の工事請負費が約2億円計上されているが、40年以上経過した配水管が約100キロある中で今後の見通しはどうか。

A

平成24年度には約5キロの布設替えを予定しているが、年々増えていく部分がある中で、追いつくことは難しいと

ころである。今後、下水道事業との調整を図りつつ布設替えを進め、年間約10キロ弱のところまでは何とかもっていきたいと考えている。

平成24年度桑名市下水道事業会計予算に対する質疑

Q

下水道事業の今後の見通しはどうか。

A

平成23年度から汚水3事業を統合して事務を行っており、事業認可区域については計画的に事業を進め、事業認可区域外については合併処理浄化槽の補助を活用し、それらを並行して進めていきたいと考えている。また、平成27年頃に合併処理浄化槽と事業認可拡大のバランスを考えながら見直しを行うしていきたいと考えている。

Q

新年度予算でどのくらい汚水管を整備することになるのか。

A

平成24年度末見込みは約14ヘクタールの増、普及率は0.5%増の73.8%を予定している。

建設水道委員会

- 委員長 佐藤 肇
- 副委員長 辻内 裕也
- 委員 松田 正美
- 市野 善隆
- 小川 満美
- 渡邊 清司
- 堀 良二

■ 審査案件 委員会開催日 3月19日(審査件数 7件)

- 議案第 5号 平成24年度桑名市一般会計予算 第1条 歳入歳出予算中 所管部門
- 議案第12号 平成24年度桑名市地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計予算
- 議案第15号 地方独立行政法人桑名市民病院の名称変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 議案第40号 平成23年度桑名市一般会計補正予算(第6号) 第1条 歳入歳出予算中 所管部門
- 議案第46号 平成23年度桑名市地方独立行政法人桑名市民病院施設整備等貸付事業特別会計補正予算(第2号)
- 議案第52号 地方独立行政法人桑名市民病院中期計画の一部を変更することについて
- 議案第53号 議決事項の変更について



審査の主な概要

平成24年度桑名市一般会計予算の所管部門に対する質疑

◆ 病院事業運営費負担金について

山本総合病院との統合による増加額は、この負担金は、基礎年金等に係る共済費負担金と総務省の公立病院に対する繰出し基準で算定した普通交付税算入分である。山本総合病院職員分の共済費については、当初予算には入っておらず、桑名市総合医療センターに転籍する人数が確定してから補正予算で対応したい。また、普通交付税算入額の算定には山本総合病院分は、まだ含まれていないので、今回は桑名市民病院の分だけを計上している。

◆ 新病院整備準備経費について

この予算は、基本構想、基本計画策定の予算であるが、分院の今後の扱いは決まっているのか。
分院の今後の扱いについては協議が必要であり、現時点ではその段階には至っていない。

平成23年度桑名市一般会計補正予算(第6号)の所管部門に対する質疑

Q 桑名市民病院経費の病院事業運営費交付金のうち、桑名市総合医療センターの開始貸借対照表における流動資産と流動負債の差がマイナスとならないように2億6,500万円を交付する根拠は。

A 地方公営企業から地方独立行政法人に移行する際、これまで会計上になかった項目を計上することになり、流動資産と流動負債の間に資金不足が発生する。地方独立行政法人の定款変更の認可を受けるにあたり、この状態の解消を県から求められており、予算計上するものである。

地方独立行政法人桑名市民病院中期計画の一部変更に対する質疑

Q 小児科及び産婦人科の機能向上、人材確保、分娩の平成23年度再開についての記述が削られているが、どのような意図か。

A 現状、医師を含めスタッフが充実しておらず、高度医療の提供に重点的に取り組める状況に至っていないため、小児科及び産婦人科の医療スタッフの集約と新たな医師の確保を図るといふ表現を加え、取り組みを進めていく。

Q 平成27年の統合時には、小児の医療ができて、分娩もできる病院を目指すと考えてよいのか。

A 院を目指すと考えてよいのか。平成27年の統合時には、小児の医療ができて、分娩もできるような形にもっていきたい。それ以前でも、各病院で集約が図れる科目については、早急に対応していく。

■ 新病院の整備等に関する特別委員会

- 委員長 岡村 信子
- 副委員長 倉田 明子
- 委員 松田 正美
- 委員 伊藤 善隆
- 委員 市野 徳平
- 委員 竹石 正徳
- 委員 清水 教徳
- 委員 堀田 一良
- 委員 飯田 美

代表質疑

桑風クラブ 佐藤 肇

- 質問 目指すべき新病院像は？
- 答弁 400床前後で二次医療の中心的な役割を担える急性期病院を実現する。
- 質問 北勢線の今後の支援について。
- 答弁 11年目以降は「三岐鉄道が責任を持って運営」が原則。しかし現状を踏まえ、北勢線対策推進協議会において慎重に議論していく。
- 質問 防災対策について。
- 答弁 ①津波浸水想定図の開示と備蓄物資の整備・充実をはかる。
②木造住宅耐震事業を強く勧めていく。
③津波対策として、高層ビル所有者に避難所として協力要請をしていく。
- 質問 地産地消事業の充実について。
- 答弁 農林水産物の安定的供給確保と食育の推進を図るべく「地産地消推進協議会」を立ち上げ検討する。

代表質疑

新桑会

市野 善隆

◆子育て支援と就学前施設について

質問 老朽化の進む市内公立保育所耐震化と就学前施設整備計画について。

答弁 公立保育所耐震化にあたり、当市では就学前施設再編検討委員会で幼保も含め検討をしていることから委員会答申の結果と国における幼保一体化を柱とした子ども・子育て新システムの動向を注視しながら検討をしていきたいと考えている。

◆近隣市町との連携事業について

質問 木曾岬干拓「メガソーラー」誘致について。

答弁 三重県が干拓地にメガソーラー誘致の方針を示し、木曾岬町が知事に対し要望を行い、当市もその後には要望をしている。今後は、1市1町で連携を密にして誘致に向け活動をしていきたい。誘致による新たな財源確保の可能性もあると認識している。

新自由クラブ

平野 和一

◆市長の政治姿勢について

質問 「教育者・農学者・倫理学者」新渡戸稲造の「武士道」について、市長の所見を問う。

答弁 我々公務に携わる人間は、全体の奉仕者として公共の利益のために職務に専念すべきであり、その際には「武士道」に通じる「正義と秩序」を重んじていかなければならないと考えている。

質問 不正は許さない!市長の望む幹部職員像を問う。

答弁 部下は上司の行動を注意深く見ている。上司の姿勢が部下に与える影響は大きい。部下を適切に指導教育できる上司になるよう、我々管理職員一人ひとり今後も自らを律していきたい。

日本共産党桑名市議団 星野 公平

◆桑名市の考える尊敬される幹部とは!

質問 職員の不祥事事件の解決策の一つとして「職員倫理審査会条例」を制定し「職員倫理条例」を作ろうとしているが、いったい尊敬される幹部とは、どのような人だと考えているのか。

答弁 所属長である管理職員は、しっかりと組織の目標を認識しつつ、自治体を取り巻く環境や時代の変化に的確に対応できるよう、日ごろから業務以外の情報、あるいは情勢にも関心を持ち幅広い視野を養い、柔軟な発想力を身につけている必要がある。そして、部下の事務執行状況、あるいは健康状況といった部分についてもしっかりと把握し、適切に助言、指導を行っていくことができ、風通しのよい職場環境を作っていける能力が必要である。

フォーラム新桑名 伊藤 真人

◆将来を的確に見据えた行財政改革について

質問 近い将来、合併の特例期間が過ぎ、地方交付税の減、人口減少、少子高齢化による税収の減等に対し、退職手当の増、公共施設の老朽化に伴う維持管理費や大規模改修費の増、新病院に係る予算の増といった厳しい財政状況に対応できる「将来を見据えた行財政改革」が必要ではないのか。

答弁 リーマンショックを期に税収は減となったが今後も歳入歳出の一体改革に取り組んでいく。財政の健全性や持続可能な財政運営に努めていく。

質問 市長在籍18年間で、目標とする改革が出来たのか。マニフェストの目標である、経常収支比率90%以下を重視しないのか。

答弁 目標とする改革は概ね順調である。経常収支比率はわずかな改善に止まったが引き続き努力する。

公明党桑名市議員団 竹石 正徳

◆電気自動車と急速充電器購入について

質問 低炭素社会実現への取り組みとして大切ではあるが、市民サービスと今後の展望は。

答弁 単なる移動手段としてだけでなく、環境問題をアピールしていくために活用する。環境に優しい電気自動車普及が目的、当面は急速充電器を無料サービス。本庁屋上のソーラーパネルは最大20KW、現状では容量不足、高効率の自然エネルギー発電の研究により、環境問題への取り組みの中で積極的に活用し、庁舎全体の電力需要に対応していく。

◆住宅リフォームの補助制度について

質問 対象者と所得制限及び工事金額適正の判断は。

答弁 居住環境向上支援を目的としている。市内在住者で滞納無い方で所得制限はない。建築職員による積算資料等を参考に資格判断する。

蒼誠会

伊藤 徳宇

◆今後の公共施設のあり方について

質問 就学前施設の再編計画が検討されている中、個々の施設の耐震化を闇雲に進めるのは重複投資になりかねない。全体的視点が欠如しているのでは?

答弁 喫緊の課題として耐震化には取り組んでいく。

◆人口減少・少子化対策について

質問 人口減少・少子化対策は、日本全体で取り組むべき大きな課題。今後の桑名市の取り組みは?

答弁 少子化対策には総合的な施策展開が必要。子育て支援策の充実に加え、ワークライフバランス(仕事と生活の調和)の推進を図っていきたい。

質問 『先ず隗より始めよ』との言葉がある。桑名市男性職員の育児休暇取得状況は?

答弁 過去に1人だけ取得。現在の取得率は0%。

議案質疑・一般質問

無会派

伊藤 恵一

◆小学校の放射能対策について

質問 福井県原発事故時に子どもを守るため、外気を取り込まないエアコンを早急に設置してはどうか。

答弁 夏の暑さ対策を中心に、検討の必要があると考えている。

◆学校屋外フェンスの設置について

質問 災害時浸水予想エリアの学校に、順次設置していくのか。

答弁 非常階段の設置と共に、計画的に取り組んでいきたい。

◆学校人権教育について

質問 市長は、人権教育の取り組みを推進していくのか、後退させるのか。

答弁 学校の人権教育は進めなければいけないと思っている。

新自由クラブ

倉田 明子

◆行政評価推進事業費について

質問 これまでの事業における成果と、今後の方向性を問う。

答弁 平成19年度から本格的に事務事業評価を実施し、集中改革プランでは予算削減のツールとして一定の成果をあげ、チャレンジプラン2010では、行政マネジメントのツールとして実施していく。

◆屋外教育環境整備事業費について

質問 大山田西小学校を芝生化することだが、過去の芝生化を十分検証してのことか。

答弁 芝生の養生などの維持管理の難しさもあるが、砂塵の飛散軽減、夏期運動場での暑さが和らいだ、などの効果もみられる。大山田西小学校芝生化実施の際は、学校、地域と協議を十分に積み重ね、取り組んでまいりたい。

新桑会

鷲野 勝彦

◆力尾土地区画整理事業について

質問 周辺道路改良・整備についての進捗は。

答弁 事業用地へのアクセス道路については、国道258号線への県道御衣野北猪飼・御衣野下野代・坂井多度線等がある。これらの道路について、養老鉄道との平面交差・S字道路等課題はあるが、課題の解決までに至っていない。今後も関係機関等と協議し課題の解決を図っていきたい。

◆教育行政について

質問 青少年健全育成市民会議の活動について。

答弁 青少年育成市民会議と木曾岬町と共催で行っている中学生の主張大会と小学生の標語に関して道徳教材等で活かせるものがあると認識している。今後、これらも含め、子どもたちの作品を教材として活用することに関し検討を考えていきたい。

桑風クラブ

伊藤 文一

◆市道福吉都羅線の整備事業について

質問 進捗状況について問う。

答弁 市道福吉都羅線は、道路形状が狭隘な箇所があり、交互通行が出来にくい状況であったため、道路拡幅し、改善するよう地元要望があり、平成20年度から渋滞解消の一環として、事業に取り組むこととなった。

事業進捗のため、地元調整を図りながら地権者と協議、交渉を進めてきたが、関係者などの意見の調整に多くの時間を費やし、平成22年度以降について事業は休止状態と成っている。

今後については、更に関係者と調整を密にし、誠意をもって対応し、早急に事業の再開に向けて取り組み、現在の計画では平成25年度末の完成を目指している。

日本共産党桑名市議団 石田 正子

◆公契約条例について

質問 委託業務や指定管理者制度で業務に従事している労働者の実態を市はどのように把握しているか。

答弁 労働者の賃金は民間の経営に委ねることから賃金実態は個別に把握していない。法令等を遵守した賃金水準など適切な労務管理状況の把握に努める。

質問 公契約条例の制定について検討はないか。

答弁 公契約条例は一部自治体で導入・検討されていることから今後も調査・研究に努めていく。

◆五反田地内産業廃棄物不法投棄事案について

質問 環境基準見直しにより、加えて1.4ジオキサンが基準値の540倍検出されたが処理の検討を問う。

答弁 廃棄物の処理方法や汚染土壌、汚染地下水の浄化を組み合わせた環境修復の提言をもとに県が国と協議を行い、合理的で経済的な浄化方法を検討する。

フォーラム新桑名 松田 正美

◆養老鉄道養老線と三岐鉄道北勢線の今後について

質問 それぞれの鉄道の利用状況と利用者を増やすための鉄道会社・沿線市町の創意工夫について。

答弁 養老線では、自転車を持ち込むことができるサイクルトレインや食事が車中で可能な「薬膳列車」を運行しPRしている。

北勢線では、主要各駅に無料の駐車場を設置し通勤、通学客などの増加を図ってきた。

質問 これからの地方公共交通の存続を議論する際にはこれまでと違う新たな視点が必要ではないか。

答弁 高齢化社会で公共交通の果たす役割は十分認識したうえで今後の存続に向け努力したい。

一般質問

無会派

倉本 崇弘

◆道州制と地域委員会について

質問 現状の国と地方との関係の中ではどうしても財政的に厳しい状況に陥るのは仕組みの問題である。国の権限を外交、防衛などに限定し、大半の国の持つ権限を道州に移譲をする、と同時に基礎自治体である市町村へも住民に直接関係する相当の権限移譲を受ける抜本的な仕組みの再編成が必要である。しかし、移譲を受けた権限を単純に市町村が抱え込むだけでは基礎自治体が肥大化するだけでなくにも変わらない。地域内分権である地域委員会の創設が同時に必要と考えるが市の考え方は？

答弁 基礎自治体では国の仕組みには関われない。地域委員会は現状の自治会と大きな差異がない。

公明党桑名市議員団 畑 紀子

◆防災対策について

質問 防災会議の委員に女性が登用されていないのはなぜか。女性の意見は今後どのように反映させていくのか。

答弁 現状では女性の委員が参加するのは難しいが女性の視点は重要。今後できるだけ女性を推薦して頂くことや、委員登用を検討する。女性の意見は大切なので、避難所運営など災害現場での意志決定に女性の参画を考えて取り組んでいく。

◆救急安心カードについて

質問 外出時の急病の際に、持病やかかりつけ医療機関、緊急連絡先などが書き込める、免許証と同サイズのカードがあれば安心である。導入を問う。

答弁 救急隊や医療関係者が必要な情報を把握し、適切な対応ができるので導入にむけて協議検討する。

フォーラム新桑名 愛敬 重之

◆地域経済の活性化を支えるまちづくりについて

質問 フランスアヌシー地域における産業・観光クラスターの連携は。

答弁 すでに津市・四日市市が産業・観光クラスターを提携されていることから提携実績などを参考に、また商工会議所等関連する機関とも相談しながら検討している。

質問 企業の研究開発における実証実験等の協力体制は。

答弁 新エネルギー分野の開発・利用は地域経済を活性化し、雇用の機会を広げるものと考えている企業からの相談などあれば経済環境部が窓口となり、関係各課との協力体制を構築する事で進める。



▲太陽光発電と風力発電

新桑会 大橋 博二

◆人にやさしいまちづくりについて

質問 近鉄桑名駅のバリアフリー化の方針は。

答弁 駅西土地区画整理事業や関係事業者との調整や経済状況等から計画的に進めていく必要があり時間を要している。しかし、市の玄関口としてバリアフリー化は急務の課題と考え、県を含め関係機関と協議を行っている。桑名駅前周辺の整備計画も含め、24年度中には目処を立てたい。

◆県立くわな特別支援学校について

質問 放課後児童生徒への対応の所見は。

答弁 県立西日野にし学園の児童生徒の増加に対応して、桑名地区では初の県立特別支援学校として桑名に本年4月開校する。このため帰宅時間が早くなる等の課題については認識している。早期に県・学校・保護者と協議の場を設けたいと考えている。

無会派

小川 満美

◆一般職員も含む給与削減について

質問 平成22年度分の民間給与の平均額は412万円、桑名市職員の平均額は585万円である。全国14.5%の自治体が一般職員の給与減額を行っている。財政状況と照らして給与削減をしないのか。

答弁 仮に大災害が発生した場合は、職員給与の減額を検討することが必要であると考え。

◆補助金・交付金の適正化について

質問 内部留保金を多く持っている補助金交付団体はないのか。また、補助金の使途の透明性を図るために、事業に対し委託料として支出するよう変更しないのか。

答弁 団体の留保金の多寡ではなく、補助事業の公益性によって判断する。支出科目は、事業の内容に基づき適切な科目で支出するよう指導していく。

無会派 伊藤 研司

◆長良川河口堰問題について

質問 河口堰建設によって「しじみ」を中心とした自然の生態系が破壊された。しかし、フラッシュ操作の増大によって、河口堰下流域で「しじみ」の生息が確認され、少ないながらも「しじみ漁」も可能になりつつあることも事実。フラッシュ操作が増えれば、自然の生態系が回復することも分かった。国交省へ、フラッシュ操作の増大と全開放の要望を！

答弁 フラッシュに関して、国交省に要望して行く。

◆持続可能な「自然再生エネルギー」活用政策を！

質問 脱・原発社会・持続可能な社会のために、自然を活用したエネルギー政策を！

答弁 太陽光や間伐材・竹材を含むバイオマス発電について、「バイオマスタウン構想」の入り口として取り組んで行く。

桑名市議会からのお知らせ

6月定例会の開催日程

(予定)

6月定例会が、6月13日(水)～7月3日(水)の21日間の予定で開催されます。

- 6月13日(水)
本会議(議案上程・提案説明)
- 6月19日(水)～22日(金)
本会議(議案質疑・一般質問)
- 6月25日(月)～27日(水)
常任委員会・特別委員会
- 7月3日(水)
本会議(委員長報告・討論・採決)

※6月19日(水)～22日(金)は、ケーブルテレビでもご覧になれます。

傍聴してみませんか

本会議や各常任委員会、特別委員会などの会議は傍聴できます。

日程はこの市議会だよりや市議会のホームページでも確認できます。ただし、日時に変更がある場合もございますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局にご確認ください。

インターネット録画中継

市議会では、開かれた議会を目指して、より多くの方に本会議をご覧いただくために、インターネット録画中継を実施しています。

傍聴に来ることができない方でも、インターネットにより本会議(代表質疑・議案質疑・一般質問)の様子を録画中継で見ることができますので、ぜひご覧ください。

テレビ中継のお知らせ

本会議の議案質疑・一般質問をケーブルテレビで生放送します。ぜひご覧ください。

対象地区	チャンネル	放送時間
桑名地区	地上デジタル121ch	午前10時から
多度地区	地上デジタル122ch(サブチャンネル)	
長島地区	地上デジタル123ch(サブチャンネル)	

※サブチャンネルでご覧いただくには、リモコンの数字ボタン②を押し、チャンネル(選局)ボタンの上方向を1回または2回押して下さい。



会派名簿

会派名	所属議員			
桑風クラブ(6人)	会長 飯田 一美	幹事長 伊藤 文一	杉浦 繁生/南澤 幸美/佐藤 肇/堀 良二	
フォーラム新桑名(4人)	会長 伊藤 真人	幹事長 松田 正美	愛敬 重之/安藤 寛雅	
新桑会(4人)	会長 飯田 尚人	幹事長 市野 善隆	大橋 博二/鷲野 勝彦	
新自由クラブ(4人)	会長 水谷 義雄	幹事長 倉田 明子	渡邊 清司/平野 和一	
日本共産党桑名市議団(2人)	団長 星野 公平	副団長 石田 正子		
蒼誠会(2人)	代表 伊藤 徳宇	辻内 裕也		
公明党桑名市議員団(2人)	団長 竹石 正徳	畑 紀子		
無会派	倉本 崇弘/小川 満美/伊藤 恵一/伊藤 研司/岡村 信子/清水 教代			

皆様の
ご意見を
お寄せください

桑名市議会では、市民の皆様にはひらかれた、より親しみやすい、身近な議会をめざしています。市議会に対する皆様のご意見、ご要望等がありましたら、議会事務局までお寄せください。また、市議会だよりに対するあなたのご意見もお聞かせください。お寄せいただきましたご意見は、今後の議会だよりの発行の参考にさせていただきます。

お問い合わせ

桑名市議会事務局 〒511-8601 桑名市中央町二丁目37番地
電話:0594-24-1304/0594-24-1305 FAX:0594-24-1359
メールアドレス:gikaijm@city.kuwana.lg.jp

編集後記

「くわな市議会だより」創刊号、いかがでしたでしょうか？まずは関係者各位のご協力により、発行できたことに感謝いたします。ここまで議会の中でも様々な議論がありました。議論を重ねることを通じて、議会としてひとつのものを作り上げる難しさを感じると同時に、合意形成をしながら物事を前に進めていくことこそが、本会議のあるべき姿なのではないかと感じたところでもあります。

なにぶん初めてのことで、広報広聴委員会としても反省する部分もありません。今後は、皆さんから「楽しい」にしているよ」と言われるような、親しみやすい市議会だよりを目指して、少しずつ改善しながら、発行していきたいと思っております。これからも応援よろしくお願ひします。

広報広聴委員会
委員長 市野 善隆
副委員長 伊藤 徳宇
委員 畑 紀子
愛敬 重之
倉田 明子
小川 満美
星野 公平
伊藤 文一